

ステアリングリモコンアダプター STR444 取付/取扱説明書

このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
[受付時間]月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ
<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

弊社製品紹介・製品取付 動画サイト
<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

Data System 株式会社 データシステム
<http://www.datasystem.co.jp/>
■[本社]東京都新宿区新宿1-18-2 ■[倉敷支社]岡山県倉敷市神田1-1-11
本取扱説明書は著作権法で保護されています。取扱(取付)説明書に記載の一部、または全部(デザイン含む)を(株)データシステムの許諾・許可なしに無断で転用・複製・改変・掲示・頒布・出版などおこなうことを固く禁じます。
STR444-2106-AKN-1

保証について

- 付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に、販売店印およびご購入日の記入がない場合、保証書は無効となります。
- 保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書をご参照ください。
※保証書は如何なる理由があっても再発行いたしません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、8年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

内容物一覧

- STR444本体 ×1
- 接続ハーネス ×1
- 取付/取扱説明書(本書) ×1
- 結束バンド ×5
- 両面テープ ×1
- 保証書&ユーザー登録カード ×1
- オスギボシ&スリーブ ×各1
- エレクトロタップ(白) ×1
- メスギボシ&スリーブ ×各1

注意事項の定義について

本書では注意事項の定義を次のように示しています。

危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
注意	守らないと、車両および製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいもの

取り付け上の注意(必ずお読みください)

注意

- 製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取り扱い業者でおこなってください。
- 取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。
※バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。
- 本体を直射日光が当たる場所やヒーターの温風が直接当たる場所・高温・多湿になる場所には設置しないでください。故障や誤動作・ノイズ発生などの原因になります。
- 付属の両面テープで本体を必ず車両側に固定してください。また、使用中にケーブルが引っ張られ本体から外れないようケーブルの取り回しにご注意ください。
- 車両側および本製品の配線を傷つけたり、本体を変形させたりしないでください。
- 本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。
- 本製品を固定、収納する前に、動作確認をおこなってください。

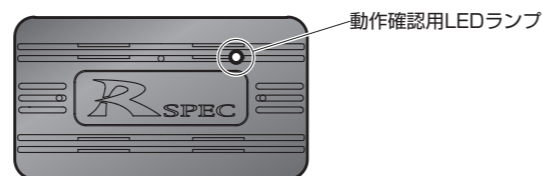
取り付け前の注意

- 本製品を取り付ける前に、適合に間違いがないか最新適合表で確認してください。
- 本製品を取り付ける前に、装着されているナビゲーションが正常に動作していることを確認してください。
- 本製品の取り付けをおこなう車両のステアリングスイッチ配線に他製品が接続されている場合、本製品は正常に動作しません。

故障かな?と思ったときは

- ステアリングスイッチを押しても、ナビの操作ができない。

「STR444」には本体ケース内の白丸(下図参照)のあたりに動作確認用のLEDランプがあります。電源オン時、数秒間点灯後に消灯。ステアリングスイッチを押したときに点灯します。

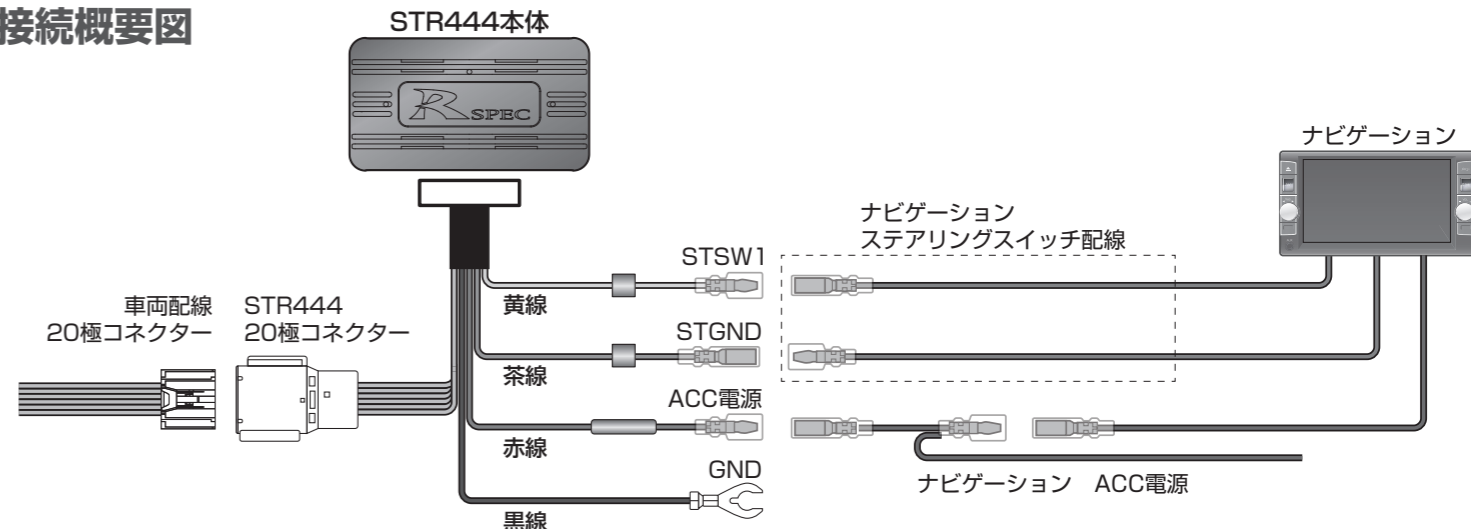


LEDランプが点灯しない場合はSTR444及び、ナビゲーションの配線接続を確認してください。

LEDランプが点灯している場合は、ナビゲーションのステアリングスイッチ設定を再設定してください。

取付方法

接続概要図



取付方法

ナビゲーションが正常に動作をすることを確認してから作業を始めてください。

- 1 バッテリーのマイナス端子をはずします
- 2 パネル類を取り外し、ナビユニットを取り外します
- 3 ナビゲーションの配線、車両側コネクタを確認します
- 4 「配線接続」を参考にACC電源、GND、ステアリングスイッチ配線、20ピンコネクタを接続します
- 5 STR444本体と接続ハーネスを接続します

配線接続

ナビゲーションが正常に動作をすることを確認してから作業を始めてください。

- 重要 STR444の黄色線と茶色線はナビゲーションのステアリングスイッチ配線に接続します。車両のステアリングスイッチ配線には接続しません。
- ナビの機種や年式でナビ配線先の「名称」「配線色」が異なる場合があります。必ず取り付けるナビの取付説明書、取扱説明書を確認してください。

1 ステアリングスイッチ配線の接続

- 「STR444」黄色線 STSW1: 装着されているナビゲーションの「ステアリングスイッチ1」の配線に接続してください。
- 「STR444」茶色線 STGND: 装着されているナビゲーションの「ステアリングスイッチGND」の配線に接続してください。

「STR444」 STSW1(黄色線)STGND(茶色線) 接続先

	STSW1(黄色線)接続先		STGND(茶色線)接続先		
	名称など	配線色	名称など	配線色	
ナビメーカー	パイオニア	黄色マーク	茶/黄	黒色マーク	茶/黒
	ケンウッド	KEY①	若草/赤	KEY④	灰/赤
	パナソニック	STSW1	茶	SWGND	黒
	イクリプス	ステアリングSW1 STR-SW1	白/青	ステアリングGND STR-GND	黒
	クラリオン	SW1	茶/白	SW-GND	茶/黒
三菱電機	ST-RIMO ST-RIMO1	黒/白	ST-REMO(G)	黒	

2 コネクタの接続

- 「STR444」20極コネクタ: 車両のオーディオ装着部にある接続されていない灰色20極コネクタ(配線2本)に接続してください。

3 電源線の接続

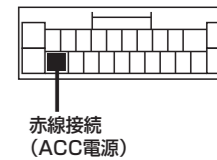
- 「STR444」黒色線(アース線): 確実にボディアースに接続してください。



- 「STR444」赤色線(アクセサリ線): 装着されているナビゲーションのアクセサリ電源配線に接続してください。

ナビゲーション取付部奥の24ピンコネクタ(回転ロックのあるコネクタ)

コネクタの端子位置は右図の矢印の方向からコネクタを見た図です



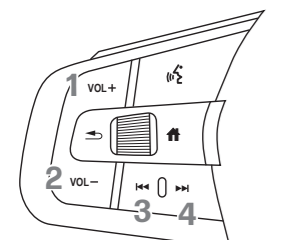
初期設定 ヴェゼル(RV3・4・5・6) フィット(GR1・2・3・4・5・6・7・8)

ナビゲーションの取扱説明書、取付説明書にしたがって、ステアリングスイッチの設定、登録を行ってください。

カーメーカー設定

カーメーカーで設定を行うときは、「ホンダ(ホンダA/B)」を選択してください。
カーメーカー設定では、「音量操作」「チャンネル操作」「オーディオソース切り替え」のスイッチ操作ができるようになります。
※ナビゲーションの機能により使用できる操作は異なります。

注意 ナビゲーションの仕様により一部機能が動作しない場合があります。
この場合は、ナビゲーションの学習登録設定でステアリングスイッチを登録してください。



	【通常モード時】	【オーディオソース切り替えモード時】
1 VOL+	音量+	通常モードへの切り替え
2 VOL-	音量-	オーディオソース切り替え
3 ◀◀	チャンネル-	通常モードへの切り替え
4 ▶▶	チャンネル+	通常モードへの切り替え

オーディオソース切り替えモード 本製品はオーディオソース切り替え操作が使用できる「オーディオソース切り替えモード」を備えています。

「オーディオソース切り替えモード」への切り替え方法

「VOL-」スイッチを続けて6回操作すると、6回目に操作した時にオーディオソース切り替え信号を送信します。
その後は、「VOL-」スイッチを押すたびにオーディオソースが切り替わります。

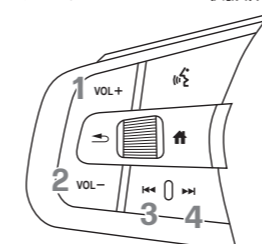
●オーディオソース切り替えモードへ切り替える際は、各スイッチの操作間隔が3秒以内となるよう続けて操作してください。

「通常モード」への切り替え方法

以下のどちらかの条件でオーディオソース切り替えモードが解除され、通常モードに切り替わります。
・ステアリングスイッチ無操作の状態で30秒が経過する。
・「VOL+」「◀◀」「▶▶」スイッチを操作する。

学習機能設定の登録例

ナビゲーションの取扱説明書、取り付け説明書にしたがって、それぞれのステアリングスイッチで設定、登録を行ってください。



学習登録設定での登録例		
	【通常モード時】	【オーディオソース切り替えモード時】
1 VOL+	音量+	通常モードへの切り替え
2 VOL-	音量-	オーディオソース切り替え
3 ◀◀	チャンネル-	通常モードへの切り替え
4 ▶▶	チャンネル+	通常モードへの切り替え

※◀▶⏪⏩スイッチは学習登録をすることはできません。

オーディオソース切り替えモード 本製品はオーディオソース切り替え操作が使用できる「オーディオソース切り替えモード」を備えています。

「オーディオソース切り替えモード」への切り替え方法

「VOL-」スイッチを続けて6回操作すると、6回目に操作した時にオーディオソース切り替え信号を送信します。
その後は、「VOL-」スイッチを押すたびにオーディオソースが切り替わります。

「オーディオソース切り替えモード」の学習登録方法

重要 「オーディオソース切り替えモード」の学習登録をする前に音量調整の学習登録設定をおこなってください。

- 1 ナビを操作してTVなどのオーディオ画面へ切り替えます
- 2 ステアリングの「VOL-」スイッチを続けて6回操作します
ステアリングの「VOL-」スイッチの6回目以降の操作での「VOL-」スイッチを操作しても音量が変化しないことを確認してください。
- 3 ナビを操作してステアリングスイッチの学習登録設定画面を呼び出します
- 4 「SOURCE」または「MODE」スイッチの登録を選択し、ステアリングの「VOL-」を押して登録します

注意 「オーディオソース切り替えモード」の学習登録作業は、「オーディオソース切り替えモード」に切り替えてから30秒以内でおこなってください。
また、学習登録が終了するまで「VOL+」「◀◀」「▶▶」のスイッチは押さないでください。

- 5 登録完了後「VOL-」スイッチを6回操作して、オーディオソースの切替操作ができることを確認してください。

初期設定 シビック(FC1・FK7・FK8)

ナビゲーションの取扱説明書、取付説明書にしたがって、ステアリングスイッチの設定、登録を行ってください。

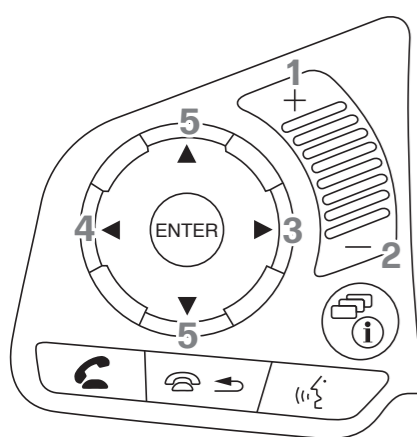
※ナビゲーションの機能により使用できる操作は異なります。

カーメーカー設定

カーメーカーで設定を行うときは、「ホンダ(ホンダA/B)」を選択してください。

カーメーカー設定では、「音量操作」「チャンネル操作」「オーディオソース切り替え」のスイッチ操作以外の機能は動作しません。

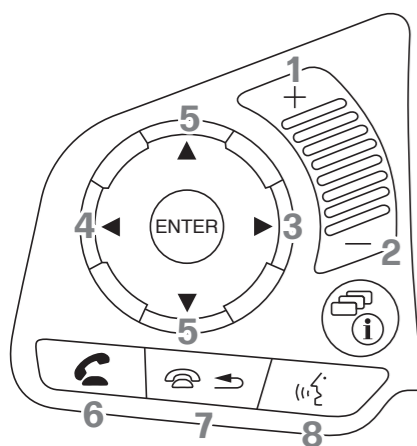
重要 5の「▲」スイッチと「▼」スイッチは同じ機能操作で「オーディオソース切り替え」となります。
(ハンズフリー、発話ボタンを押した時、音量、チャンネルが動作することがありますが車両の仕様であり異常ではありません。)



- | | | | |
|---|-----|--------|--------------|
| 1 | + | VOL+ | 音量+ |
| 2 | - | VOL- | 音量- |
| 3 | ▶ | CH+ | チャンネル+ |
| 4 | ◀ | CH- | チャンネル- |
| 5 | ▲・▼ | SOURCE | オーディオソース切り替え |

学習機能設定の登録例

ナビゲーションの取扱説明書、取り付け説明書にしたがって、それぞれのステアリングスイッチで設定、登録を行ってください。



- | | | | | | | | |
|---|---|------|--------|---|-----|--------|--------------|
| 1 | + | VOL+ | 音量+ | 5 | ▲・▼ | SOURCE | オーディオソース切り替え |
| 2 | - | VOL- | 音量- | 6 | ☎ | オンフック | 発話 |
| 3 | ▶ | CH+ | チャンネル+ | 7 | ☎➡ | オンフック | 終話 |
| 4 | ◀ | CH- | チャンネル- | 8 | 🗣️ | トーク | 音声認識 |

重要

- 登録作業中は「ENTER」スイッチ 、「ディスプレイ/インフォメーション」スイッチ は押さないでください。
- 「ENTER」スイッチ 、「ディスプレイ/インフォメーション」スイッチ は登録できません。
- 5の「▲」スイッチと「▼」スイッチは同じ機能操作となります。機能を登録するときは、どちらか一つのスイッチで学習登録が行えます。